

仰木の里学区 自主防災会だより

2024年
1月号
VOL.9

あけましておめでとうございます。



仰木の里学区自主防災会
会長 津原 士郎

仰木の里学区のみなさん、新年あけましておめでとうございます。
新年早々に能登地方において最大震度7の大地震が発生し、多数の死者・行方不明者や多くの倒壊家屋等の被害が発生しています。
私たちの住む「仰木の里」も能登地方と同規模の震度7の大地震が、琵琶湖西岸断層帯において30年に3%と地震としては高確率で発生すると予想されています。
能登地震を契機に、私たちも自らの命を守るため、災害に備えた取り組みを強化することと致しましょう！

4年ぶりに学区総合防災訓練を実施

11月12日(日)、4年ぶりに学区総合防災訓練を実施しました。コロナ禍の間は全住民を対象とした行事は自粛して来ましたがやっと再開することが出来ました。今年、里東ブロックの住民を対象に仰木の里東小学校グラウンドにて開催し255名の住民に参加頂きました。

グラウンドでは、3班に分かれて搬送訓練・消火訓練・救護訓練をローテーションして体験頂きましたが、その間並行して給食給水班による豚汁の準備と起震車体験を行い、最後に、仰木の里分団による消火活動模範演技の後、応急給食を試食して解散しました。なお、自治連合会未加入自治会について、従来からオブザーバー参加頂いている湖都が丘自治会に続き、今年度から東1丁目と北雄琴自治会にもオブザーバー参加頂きました。



仰木中学校において避難所運営訓練を実施

9月24日(日)、仰木中学校において避難所運営訓練を実施しました。小学校以外の指定避難所（学区自主防災会の防災倉庫がない指定避難所）では初めての訓練となりました。避難所運営訓練は全住民参加型ではなく、各自治会の代表である防災部長を中心に学区自主防災会の役員で避難所を運営する為に必要な手順を中心に学習しました。また、施設管理者（学校関係者）や市避難所担当員にも災害時の持ち場に応じた訓練に参加頂きました。



自主防災会ホームページ

各種行事案内や防災会役員向けの資料などを掲載していますので是非ご覧ください。

<http://oginosatojishubo.com/>



トイレ備蓄忘れていませんか？

大地震の発生と共にインフラは機能しなくなることが想定されます。災害時に生き抜くために最低限の衣・食・住が必要ですが、我慢出来ないのは排泄でありトイレです。自宅や建物が損壊しなくても上水・下水・電気が機能しなければ水洗トイレは使用できません。

※ 停電時使用出来ないのは、タンクレストイレの場合です。

懐中電灯や水・食料を備蓄している人が多くいるのに対し、災害時用トイレを備蓄している人は2割ほどしかいません。



トイレの備蓄は

成人の平均排泄回数

国が推進する日数

1人あたり **35回分** = 5回/日 × 7日分 が必要です！

45ℓのごみ袋を利用して家のトイレを非常用トイレにする方法



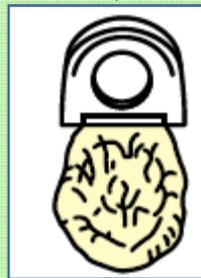
排使用ゴミ袋が便器内の水で濡れるのを防ぐため、便座を上げて45ℓのごみ袋を便器にかぶせ養生テープなどで固定します。

※ 便器に溜まった水は臭いや虫を防ぐ役目があります。

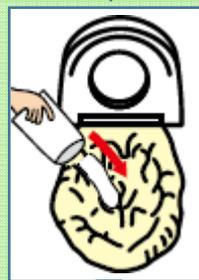


排使用ゴミ袋を取り付けた後、便座を下ろし用を足します。

※ 黒や青のごみ袋は中身を見えにくくする効果があります。



便座を上げ、事前準備で固定したゴミ袋の上にもう1枚のゴミ袋を覆うように被せます。(これは用を足すためのゴミ袋になります。)



非常用トイレセットの場合は、付属の凝固剤を排泄物の上にならして固めます。



水分を吸う効果を持たせる為
①新聞紙をちぎってに入れます。(消臭機能なし)
②ペット用シートを入れます。(消臭機能あり)
③ねこのトイレ用砂を入れます。(消臭機能あり)

※ 凝固剤がある場合は上記は不要



排使用ゴミ袋だけを取り出し、中の空気を抜き、袋の口を縛ります。別の袋に貯めて指定ゴミの日に捨てます。

参考ガイド

<https://www.city.takaishi.lg.jp/material/files/group/24/kannitoirenosakusei-2.pdf>

